耐力計算プログラムの実行方法

本説明では、 ソースコードのファイル名を RC_joint_zyuzi_exp_v3r10a.m, 試験体データのファイル名を Dataset-v2r51.xlsx, としています。

準備

・ダウンロードした RC_joint_strength.zip を解凍。下記のような階層のフォルダが作られる。
RC_joint_strength----- RC_joint_zyuzi_exp_v3r10a.m
--func (上記のコードで使用する function が入っているフォルダ)

・RC joint_strength フォルダに試験体データのファイルを入れる。

手順1

・Matlab で上記の RC_joint_strength フォルダを選択し、ソースコードを開く

□ 名前 マ	更新日		RC_joint_zyuzi_exp_y3r10a.m 🕺 +	
RC_joint_zyuzi_exp_	2022/06/08 15:37			
dataset-v2r51.xlsx	2022/02/24 11:08		◆◇ RC造十字形柱梁接合部の曲げ強度算出プログラム ◇◆	
🖻 🦲 func	2024/02/29 18:58		RC_joint_zyuzi: originally coded by Kazuhiro Mizumoto	
			・ファイル名rOaでは、上端・下端それそれについて別を計算し、削く圧倒と削(下段)の平均を厳終的な削とする	
			・ファイル名FObでは、上端・上端・上端・上端で1000で主動動面積・主動動距離比を求め、その平均を取った後にMJを求める ファイル名(しかいしつい)では1000では、単語であります。2016	
			・ファイル合ヤバ(VITUは1)では、18公式人前かれる作材 - ファイル名ヤバ(VITUは1)では、18公式人前かれる場合は1931年11日 - マーン・インダイン・マングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シングローン・シング	
			>>+1/h/Detwice/keiliment/(19+ Seizen)/ream/co481.animth.c/4411	
			【ひずみの適合条件の取り扱い】	
		11	・flg = 0 or 1:ひずみの連合条件を考慮しない or 考慮する	
		1		
		1:	■ 主な変更点【重要】2022/05/19	
		1:	・NJDG、NJUG:ひすみの適合条件を考慮した接合評曲げ強度の計算(flg = 1のとき) きがたかけ、利用、利用、人類な、人類ない利用では、	
		1.	計具力次は、相原・温原(2010)次(1)に巻つく。 	
		1	* 前100,前105、2011になどのによる没た日時間17度反対目界(いる名との目界)から 1915年に大田・横西・市街で1011日ズ(0)(101にまず(オーンドズ)の通道会条件は表情した1)	
		1		
		11	■ 修正履歴	
		13	date: 2020/10/05 初版作成	
		2	date: 2021/06/07 Excelデータの接合部横補強筋の断面積の読み取り方法を修正	
		2	date: 2021/06/08 Excellに出力する最後の列に接合部降伏強度Mjyを追加	
		2	date: 2022/02/02 変数や関数を下形の体裁に合わせる	
		2	date:2022/02/11 CP みの規定会社を考慮した考慮がと社中技動のルカを水める able:2022/02/11 CP 通知(2000)にとた社会会的社会後のためになたまで用	
		2	uate - 2022/00/19 注助(など2)による)接合が出し(加度の)目的/の(な)があった。 わから、2022/00/19 注助(など2)による)接合が出し、ために、2025年の11月20日の11日の11日の11日の11日の11日の11日の11日の11日の11日の1	
		2		
		2		
		2	% ◆◇ 変数の読込み ◇◆	
		2	% ブログラムの体裁	
		31	- tic % ストップウォッチタイマーを開始(現在の時刻を記録)	
		3	- clearall 多ワークスペースからすべての変数を削除 サークション かっての変数を削除 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		3:	- close all > 30/dtWrigure@films	
		24	ドウィンドウ	0
		1		

手順 2

・コード 47 行目の filename= '*****' の*箇所を,開きたい試験体データのファイル名にする。

	- Predicing and Alimits And Tables And Alimits And Type and the and th	0 ^
RC_j	ioint_zyuzi_exp_v3r10a.m 💥 🕂	
31 -	clear all % ワークスペースからすべての変数を削除	<u>^</u>
32 -	close all % 現在のFigureを削除 // 100 //	
33 -	addpath('./func'); % 検索バスにフォルダーを追加	
34		
35	% ◆◇ 要変更箇所 ◇◆	
36	% ひずみの連合条件の考慮の有無	
37	% flg = 0; % ひずみの適合条件を考慮しない	
38 -	flg = 1; % ひずみの連合条件を考慮する	
39		
40	% 柱の曲げ終局強度の略算式の計算方法	
41 -	opt = 0; % 1段配筋の式を使用しない (pg式のみ)	
42	% opt = 1; % 1段配筋の式を使用する(pt式とpg式を併用)	
43	x	
44		
45	% ファイルの読込み	
46 -	directory = pwd; % pwd(print working directory):現在作業中のディレクトリをバスを通す	
47 -	filename = 'dataset-v2r51.xlsx'; % Excelのファイル名	
48 -	fp = [directory,'¥',filename]; % Excelファイルの場所を指定	
49 -	read_table = readtable(fp,'basic',true,'PreserveVariableNames',true); % Expelデータの読み取り	
50 -	table_size = size(read_table); % Excelデータの表のサイズ	
51		
52	% Excelからの変数の読込み	
53 -	Cname = num2alphabet(table_size(2)); % 文字列的読み取り	
54 -	dataset = readtable(tp,'basic',true,'Kange',['Ab:',Cname,num2str(table_size(1)+5)]); % Excelのテータセット	
55 -	n = table_size(1); % テータの個数	
56		
57	% EXCelがらMAILABU/2変数にナーダ人力(input_data_mU)functionから,datasetを51数とし(ナーダ人力を実行)	
58 -	$[10]$ (C_0) (C_0) (C_1) (C_1) (R_0	
03		
01	njmuju_juuja_jjola_jolama_bijaso, n tenio ditenio nitenio di tenio n bizio di bizio n bizio di bizio di	
61	n_topic,q_topic,n_topic,q_topic,g_tomic,g_tomic,q_tomi	
02	n_m,n_n,a_n,sigma_ny] - nnyut_uata_i2(uataset,n),	¥

手順3

・コード 268 行目の writetable=(T, '*****') の*箇所を, 出力したいファイル名にする。



手順4

・コードを実行する。

⇒コマンドウインドウに下記のような表示が出て、Figure1~5の図が出てくる。(図は閉じてよい)



・同じフォルダ内に指定したファイル名の Excel ファイルが出力されている。 ⇒これが,計算耐力データのファイルとなる。